

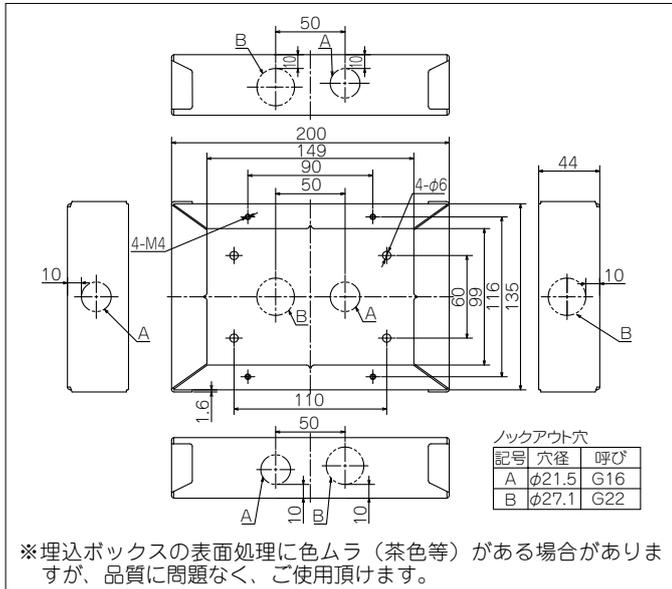
# 湿式壁用施工部材

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

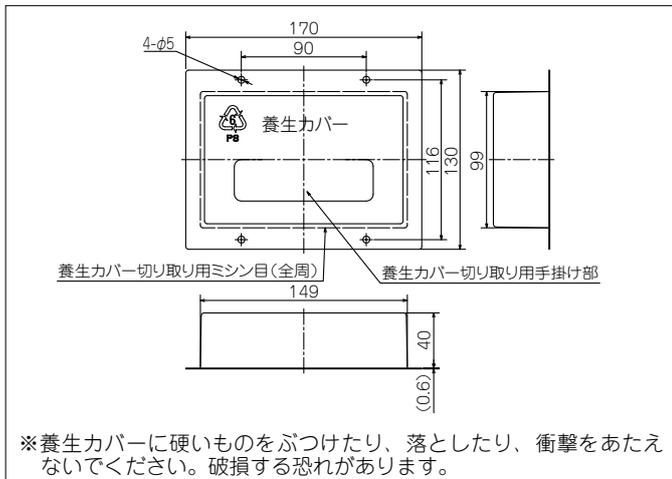


## ●商品図

### ●埋込ボックス



### ●養生カバー



- サウンドデコレーター：KS-621（オート 埋込形・100V式）以外の商品には使用できません。
- 埋込ボックスを埋込むため、下地壁の埋込みしろは45mm以上必要です。現場の状況（電線管の取り回し等）を考慮し、十分な強度を確保できる厚みにしてください。
- 下地壁からタイル表面（下塗りモルタル含む）までの厚みを15mm以下としてください。

## ●付属品の確認

●次の部品があることを確認してください。

付属部品明細	
埋込ボックス	1個
養生カバー	1個
養生カバー固定ネジ（なべ小ネジM4×6）	4本
施工説明書（本書）	1部

## ●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。
- この施工説明書はお客さまで保管頂くよう依頼してください。

### 用語および記号の説明

- 警告** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
- 注意** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- ⚠ ……「注意しなさい!」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
- 🚫 ……「分解してはいけません!」
- 🚨 ……「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

## ⚠ 警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。  
※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。



分解禁止

電源線接続用の電源電線はVVVFケーブル2芯φ1.6またはφ2.0銅単線を使用してください。  
※上記以外の電線を使用すると、火災の原因になります。



指示実行

電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事が行ってください。  
※ショート・感電の恐れがあります。



指示実行

電源線や異物を挟み込まない。  
※火災や感電の原因になります。



指示実行

## ⚠ 注意

取付完了後、商品にガタツキがないことを確認する。  
※取り付けが不安定になり、落下してけがの原因になります。



指示実行

## ●施工方法

※取り付けには、本部材の他に下記部材が必要です。

現場に合わせて、選定してください。

〈現場手配部材〉

●電線管（合成樹脂製可とう電線管 JIS C 8411 呼び16または22）

●電線管コネクタ（合成樹脂製可とう電線管用附属品のコネクタ JIS C 8412 呼び16または22）

または

●電線管（ねじなし電線管 JIS C 8305 呼びE19またはE25）

●電線管コネクタ（ねじなし電線管用コネクタ JIS C 8330 呼びE19またはE25）

①埋込ボックスに電線管コネクタ、電線管を取り付け後、スペーサー（現場手配）やモルタル等で埋込ボックスを下地壁に仮固定し、正確な位置決めをした後、埋込ボックスの周囲をモルタルで埋め戻して固定してください。

※埋込ボックスのVカットを目印に、正確に位置決めして固定してください。（図1）

※埋込ボックスが傾いて固定されてしまうと、サウンドデコレーター：KS-621組付時に傾いたり、ガタの発生や、組付けできなくなる恐れがあります。

②電源電線を埋込ボックス内に引き込んでください。（図1）

③養生カバーを養生カバー固定ネジ（なべ小ネジ M4×6）4本で埋込ボックスに取り付けてください。（図1）

※養生カバー固定ネジの固定にはインパクトドライバーを使わないでください。養生カバーが破損する恐れがあります。ドライバーで手締めし、正確な位置に固定してください。

④下地壁にモルタルを下塗りし、タイルをはり付けてください。（図2）

※開口部寸法にあわせてタイルをはり付けてください。（図3）

⑤モルタルが固まったことを確認し、養生カバーを引き抜いてください。（図4）

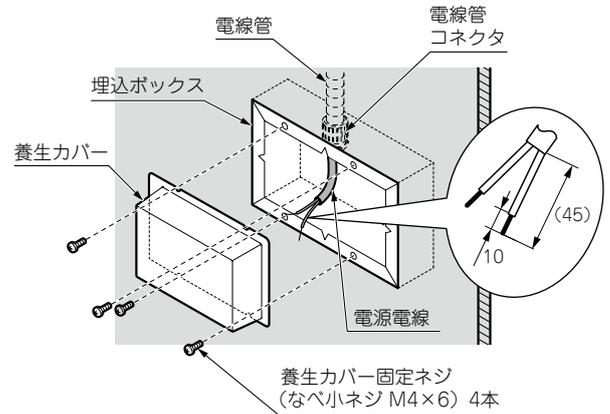
※切り込みを内側に折り、手を入れて前に引くと、ミシン目より切り取ることができます。

養生カバーのふち部分は壁の中に残ります。

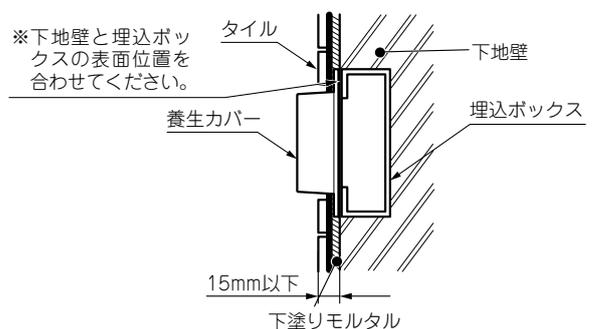
⑥タイル表面の取付位置に中心線を正確に墨出ししてください。

●サウンドデコレーター本体の取付方法については、サウンドデコレーター：KS-621（オート埋込形・100V式）の施工説明書をお読みください。

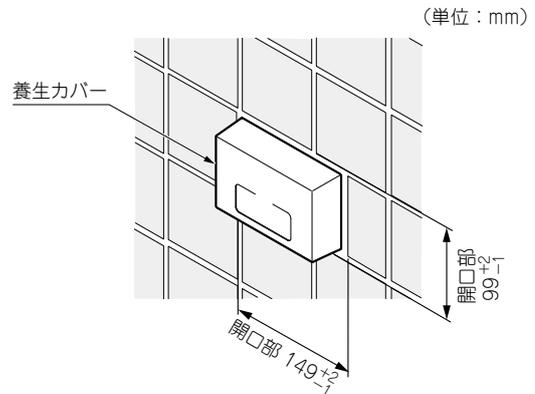
（図1）



（図2）



（図3）



（図4）

